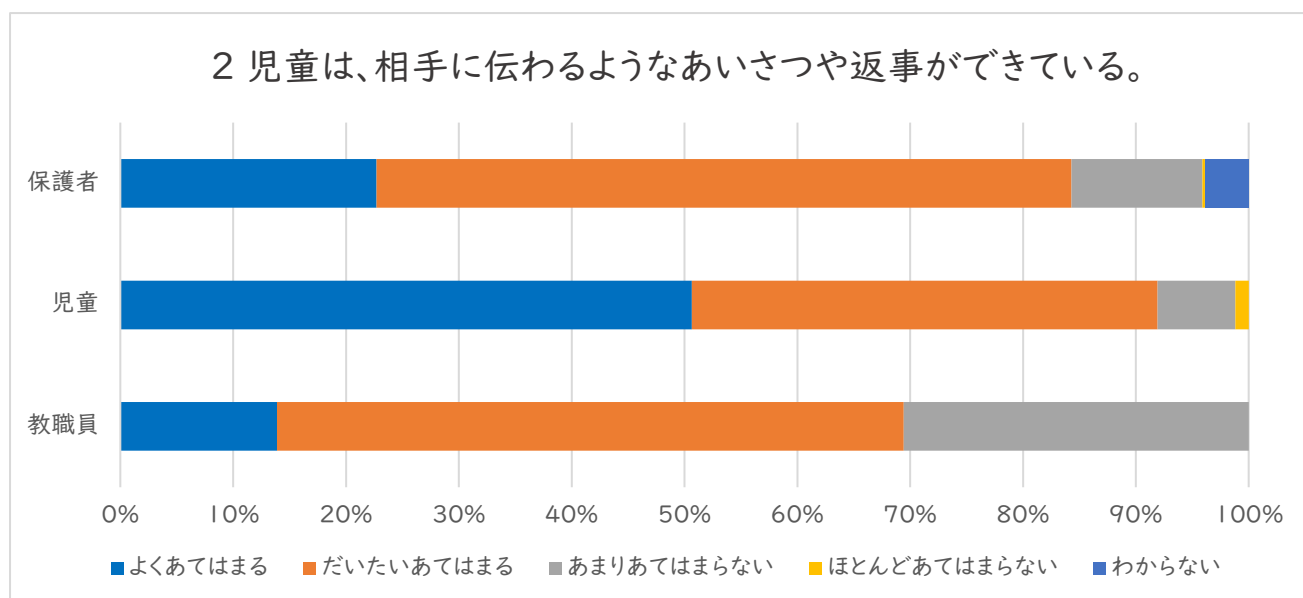
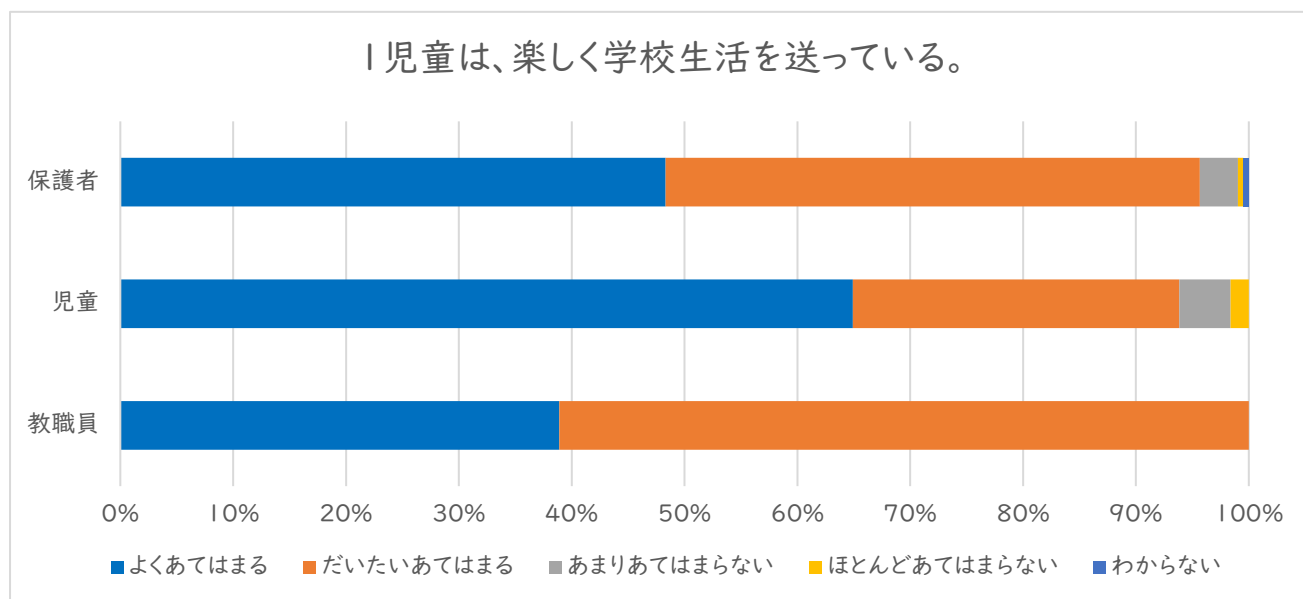


令和6年度学校評価アンケート 集計結果について

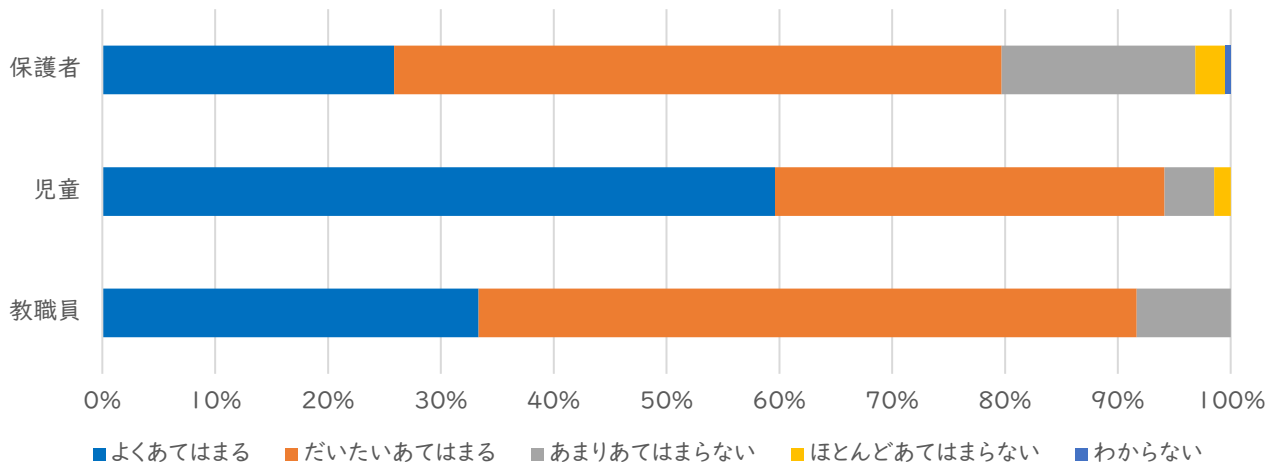
○実施期間：令和6年 10 月 10 日（木）～ 10 月 21 日（月）

○対象者： 児童、保護者、教職員

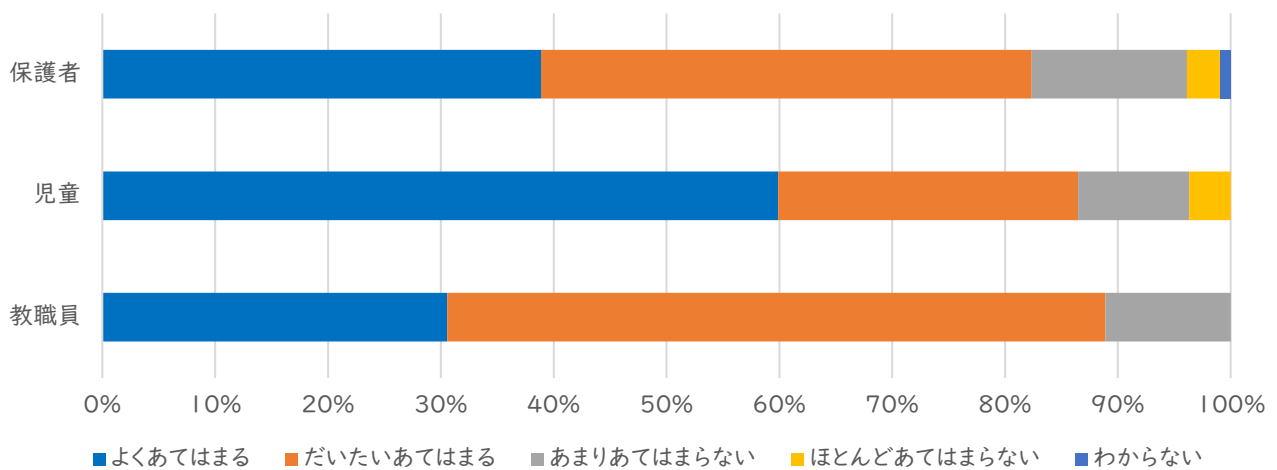
○回答方法：Forms



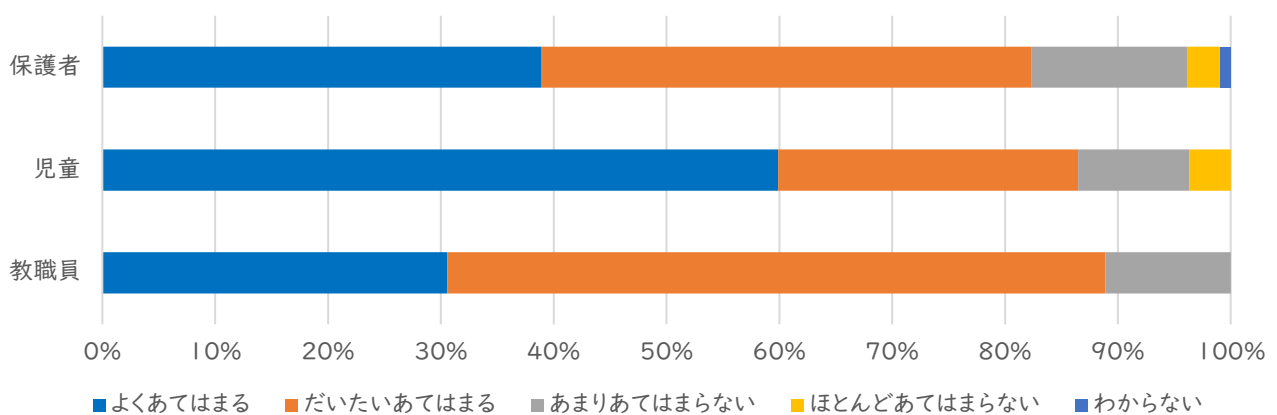
3 児童は、進んで学習に取り組んでいる。



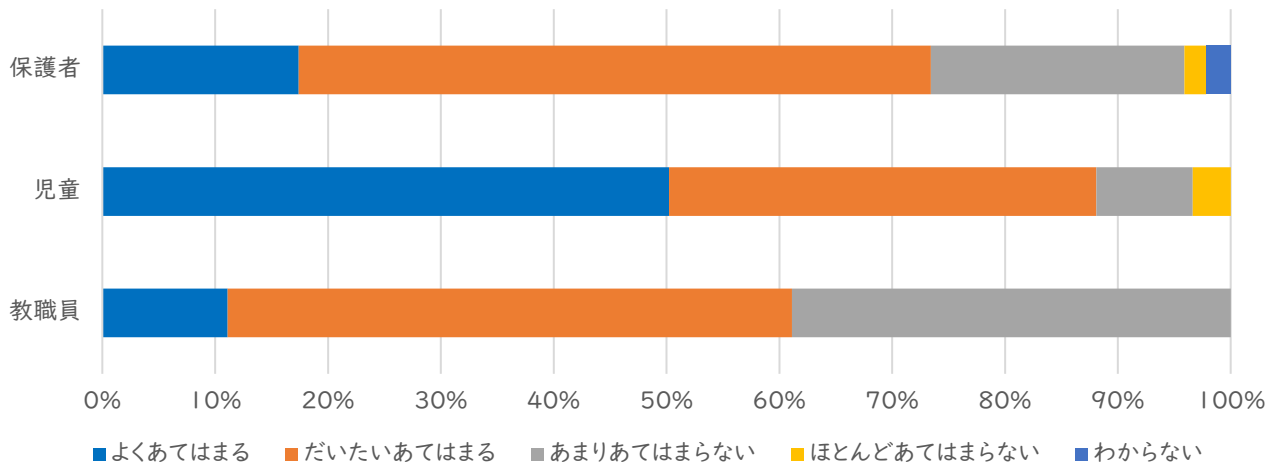
4 児童は進んで体を動かしている。



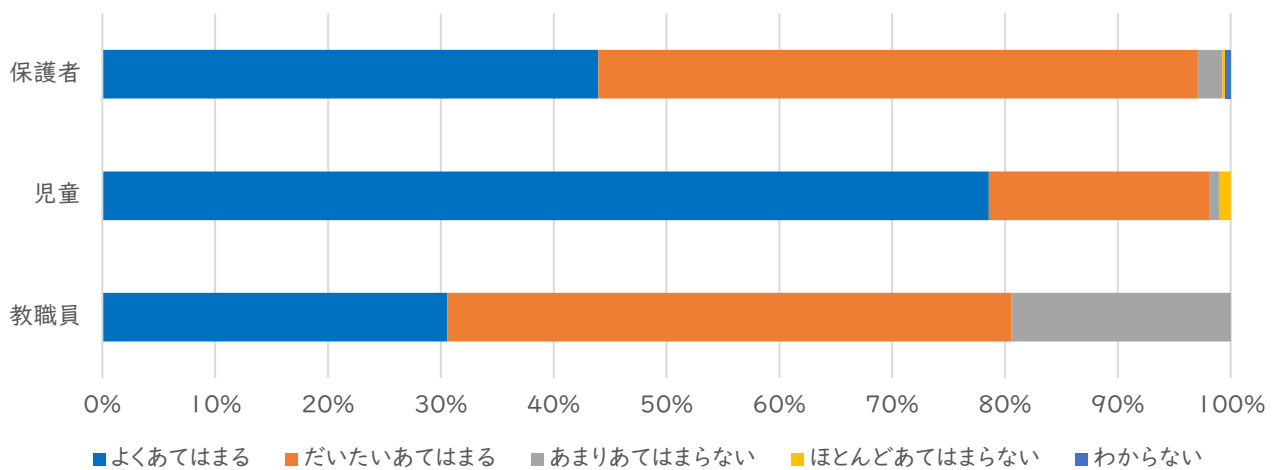
5 児童は、困ったことや悩みごとがあったときは、友達や周りの大人に相談ができています。



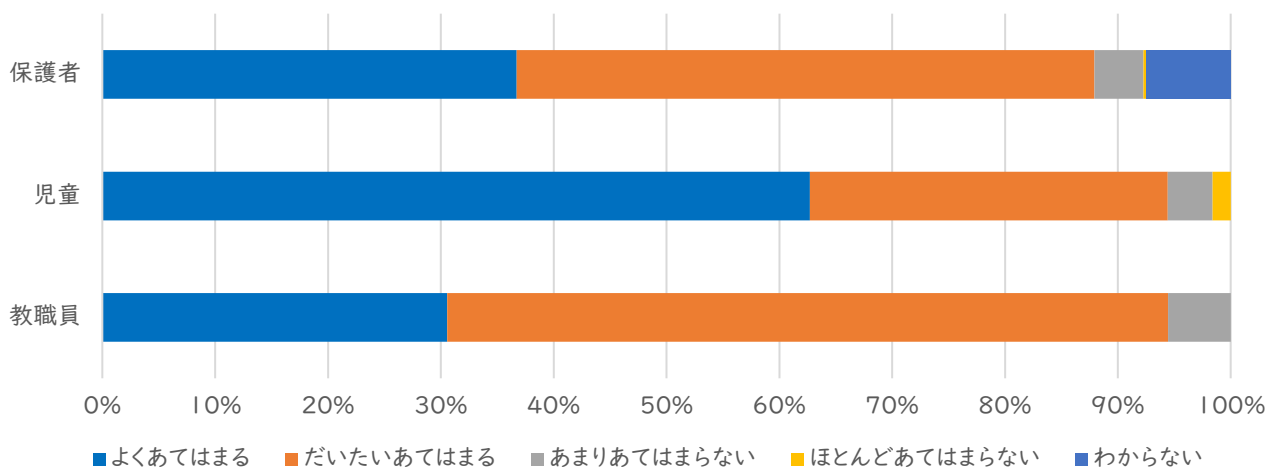
6 児童は、失敗を恐れずに新しいことにチャレンジしている。



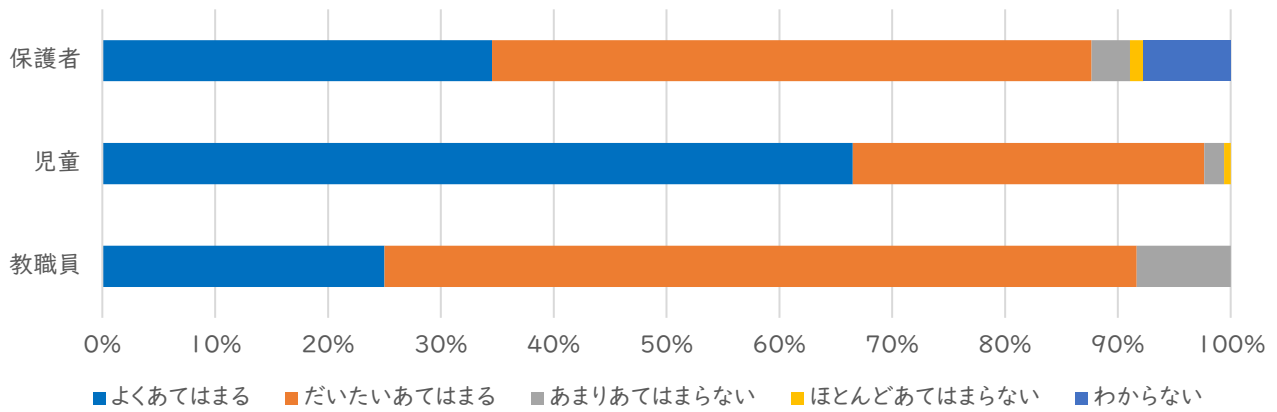
7 児童は、公共のルールやマナーを守って生活している。



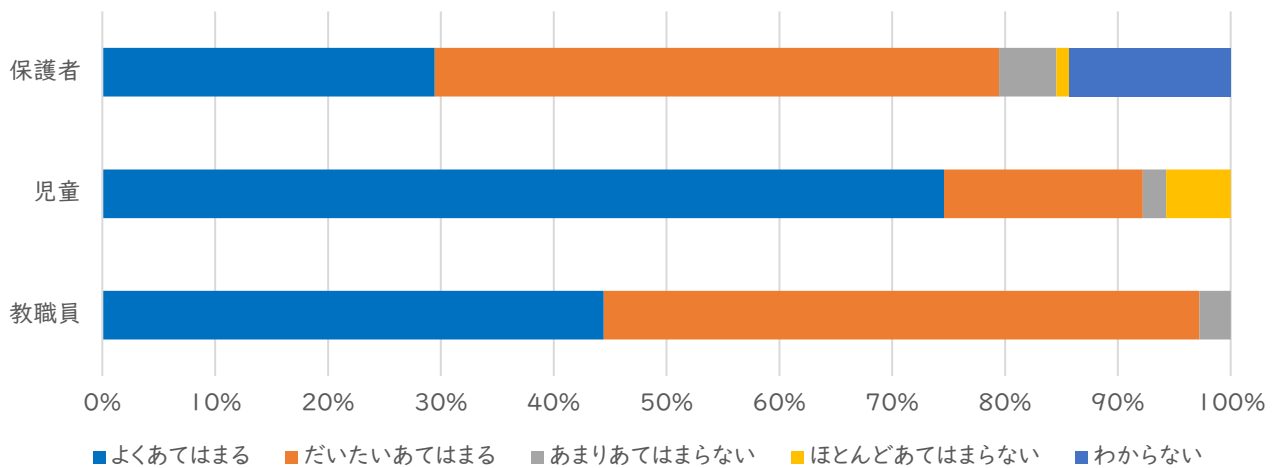
8 学校は、児童にわかりやすい授業を行っている。



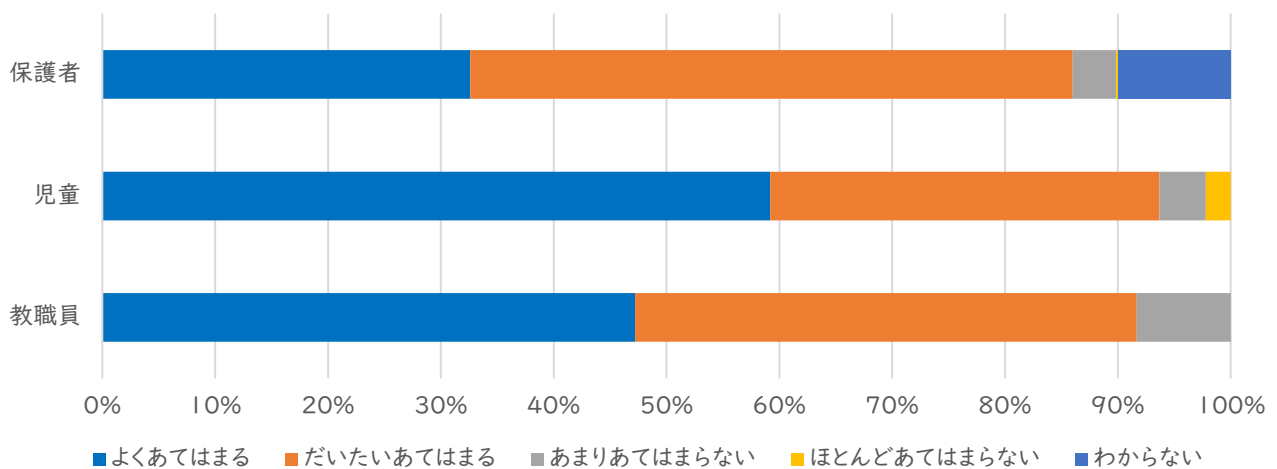
9 学校は、児童の規律ある態度や豊かな心の育成に向けて取り組んでいると思う。(道徳教育・生徒指導の充実)



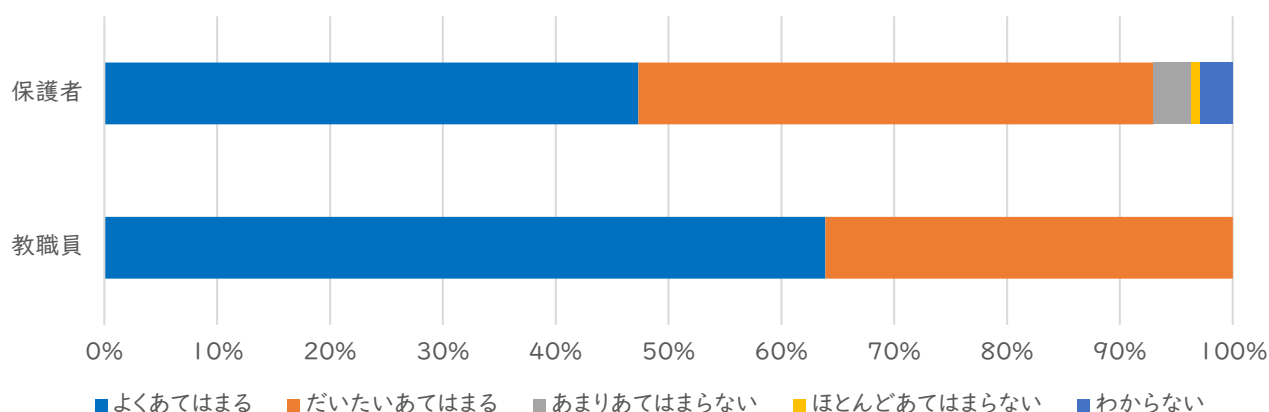
10 学校は、いじめ防止、生命尊重教育に適切に取り組んでいる。



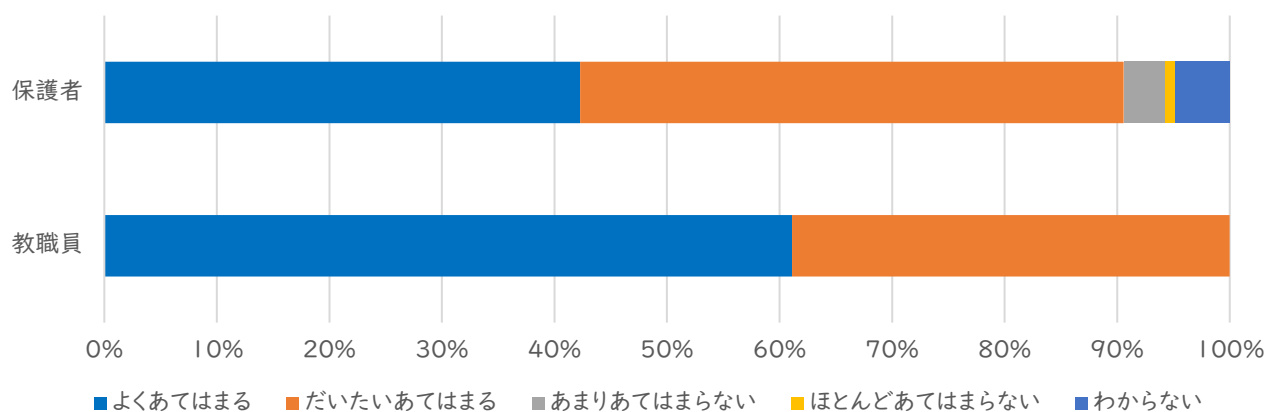
11 学校は、施設・設備等の整備を適切に行っている。



12 学校は、保護者からの連絡・相談に対して、適切に対応している。



13 学校は、保護者や地域住民に学校HP等で適切に情報を伝達している。



考察

【質問2】「相手に伝わるようなあいさつや返事ができている」という項目での教職員の肯定的な回答が昨年度に比べ15%程度下がっています。これは、「相手の目を見て」や「相手より先に」というめあてを立てて取り組んでいることに対して十分に達成できていないと感じている教員が多いと考えられる。今後は、あいさつ運動について、児童会を中心とする児童主体の活動を継続し、さらに、クラス・学年・縦割りグループなど、一緒に行うメンバーを変えたり、正門付近だけでなく校内でも行ったり等、工夫しながら相手に伝わるようなあいさつとともに返事もできるよう指導していく。

【質問3】この項目は、第2回学校運営協議会において意見として出され、新たに追加した質問項目である。90%以上の児童が肯定的な回答をしており、また60%近くの児童が「よくあてはまる」と回答していることから、子どもたちは主体的に学習に取り組んでいると考えていることが分かった。一方、保護者の肯定的な回答は80%と児童より低い割合となっていた。家庭では、児童が学習に進んで取り組む姿を見られることが少ないことが予想される。また、「進んで」の意味として、おうちの人が声をかけずとも「自分から宿題に取り組んでいる子」や「自ら宿題以外の学習に取り組んでいる子」等がイメージされるため、保護者と子どもたちとの数値の差があるのではないかと考えられる。

【質問5】「児童は、困ったことや悩みごとがあったときは、友達や周りの大人に相談ができています」という項目について、児童の否定的な回答が昨年度に比べ、4%程度増えていた。積極的に子どもに話しかけたり、休み時間に一緒に遊んだりしながら、子どもたちが教員に相談しやすい雰囲気をつくっていきたい。また、高学年においては、教科担任制を生かし、複数の教員が関わることを通して、様々な大人に相談できる体制づくりを引き続き行う。

【質問6】この項目についても、第2回学校運営協議会において意見として出され、新たに追加した質問項目である。90%近くの児童が肯定的な回答をしている。一方で、保護者や教職員からは「あまりそう思えない」という回答もあり、保護者や教職員の期待する姿には達していない状況がうかがえた。さらに挑戦する心を高めていくためにどうすればよいか、引き続き学校課題研修や学校運営協議会などで検討していく。

【質問8～13】学校での教育活動や施設、設備などの質問に対して、保護者の方から「わからない」という回答が一定数あった。来年度以降、学校で修繕したり、新設したりした箇所や、学校での取組や子どもたちの学習の様子などを、学校だよりや学年だより等で積極的に情報発信していく。